

令和5年度（2023年度）公共事業再評価調査

（様式3）

基準年月日 令和5年8月1日

調査番号	08-23	所管部	建設部	作成責任者	土木局河川砂防課砂防災害課長 寺越孝則
				担当係	砂防係（内）29-401

I 基本事項（基準日時点）

事業種別	火山砂防事業費（社会資本整備総合交付金）							
地区名	ピリカ富良野川	市町村名	上富良野町	総事業費	1,600 百万円			
負担割合	国	55.0%	道	45.0%	市町村	—	その他	—
		880 百万円		720 百万円		— 百万円		— 百万円

事業目的・目標	●土砂災害から地域住民の生命、財産などを守るため、砂防設備の整備を行う。 ●H28年の集中豪雨により下流域へ大量の土砂流出・洪水氾濫が発生し、大きな被害が生じた。現在、流域内には治山施設と護岸工が設置されているが、その効果量は小さく、今後の降雨により更なる土砂流出が懸念される。 ●溪流保全工や砂防堰堤工の整備を行い、人家や公共施設などを土砂災害から守ることを目的とする。				
	【アウトカム】等 ●土砂災害により被災するおそれのある家屋数 11戸 → 0戸、農地5.9ha				

事業概要	ピリカ富良野川火山砂防事業は、土砂災害から人家や避難所などを守るため、砂防設備（砂防堰堤工、溪流保全工）の整備を行うものである。	工事費内訳	【計画】砂防堰堤工2基、溪流保全工2,400m	(百万円)	(百万円)	(百万円)
				前回評価	今回評価	増減額
			砂防堰堤工 N=2基	312	497	185
			溪流保全工 L=2,400m	510	547	37
			測量設計費 調査・設計	116	317	201
			用地補償費 用地買収・物件補償	42	239	197
			計	980	1,600	620

総合計画での位置付け	総合計画の体系	大項目	中項目	小項目	施策名
		生活・安心	強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮	大規模自然災害に対する北海道自らの脆弱性の克服	大規模自然災害対策の推進（強靱化）

特定分野別計画等での位置づけ	施策目標・方針	【計画名：北海道強靱化計画 P26】 （砂防設備等の整備） 土石流危険渓流や急傾斜地崩壊危険箇所など土砂災害の恐れのある箇所について、近年の災害発生状況や保全対象などを勘案し、砂防設備や急傾斜地崩壊防止施設、地すべり防止施設等の整備を推進する。
	関連する指標	土砂災害から保全される人家戸数 約2.5万戸（2018） → 約2.7万戸（2022）

II 公共事業評価経過

（単位：百万円）

事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費 (a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費 (b)	進捗率 (b)/(a)
							980	441			
今回評価	H30 (2018)	R2 (2020)	R5 (2023)	R10 (2028)	(5)	1,600	720	120	607	38%	

変更理由・内容（概要）	(1)ピリカ富良野川における地質調査の結果、地盤支持力不足により拡幅および増工を行い施工規模を拡大したことによる増額及び事業期間の延伸 (2)柳の沢川における地形調査の結果、堰堤の施工規模を拡大したことによる増額 (3)物件の隣接地で測量箇所や作工物調査を追加したことによる増額 (4)パイプラインの補償が必要となったことによる増額 (5)貴重種が確認されたことにより移植・追跡調査を行ったことによる増額 (6)資材・労務単価の上昇 (7)残事業の施工期間を精査したことによる事業期間の延伸
-------------	---

III 事業採択前の状況

1. 事業採択に至る経過と背景	● H28年（2016年）7月 洪水氾濫被害が発生 ● 氾濫区域内に人家や道や指定避難所などが位置していることから、砂防設備の整備が必要である。				
2. 事業検討の手續（住民への把握等）	● H28年 上富良野町より事業要望 ● H30年 ピリカ富良野川火山砂防事業に着手				
3. 事業効果を及ぼす地域・対象	● 上富良野町松井牧場 人家11戸、畑などの農地5.9ha、清富多世代交流センター（避難場所）1件、農漁家6件、道道2.2km 道道橋1基				
4. 関連する事業	事業名	事業主体	事業期間	事業費 (百万円)	事業内容

#### IV 事業の実施状況

1. 進捗状況	(1) 事業実績及び今後の計画															
	施工(工種)区分	工事内容	H30	R1	R2	3	4	5	6	7	8	9	10	進捗状況	事業費(百万円)	
	砂防堰堤	N=2基				← N=1基 →			← N=1基 →					50%	497	
	溪流保全工	L=2,400m										← L=2,400m →		0%	547	
	測量設計費	調査・設計												88%	317	
	用地費及補償費	用地買収・物件補償												11%	239	
(2) 進捗状況																
砂防堰堤工2基、溪流保全工2,400mの内、砂防堰堤工1基の整備が完了。 施設規模の変更や調査・設計の追加により事業期間を延伸したが、今後の実施に当たっても特に大きな支障となるものはない。																
b		a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。 c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。														
2. 事業効果	経済効果の内訳(百万円)				費用の内訳(百万円)				備考							
	項目	R5 現在		項目	R5 現在		●「治水経済調査マニュアル(案)」(国土交通省R2)、「砂防事業の費用便益分析マニュアル(案)」(国土交通省 水管理・国土保全局砂防部 R3年1月)に基づき算出 ●効果及び費用はR5に現在価値化し、「整備期間+完了後50年間」で算出 ●効果は、土砂災害における直接被害額(家屋、公共土木施設、農地等)及び間接被害額(営業停止被害等)により年平均被害軽減期待額を算出 ●費用は、現在価値化及び50年間の維持管理費の計上により総事業費と異なる。									
	土砂被害防止効果	2,183		建設費	1,342											
				維持管理費	4											
	合計(B)	2,183		合計(C)	1,345											
	B/C	前回算定年度 : H30年度(2018年度)【事業採択】 前回算定時B/C: 1.96(合計(B): 1,455 合計(C): 741 )														
R5 現在	変更理由 ・事業費の増額に伴う費用の増加 ・「治水経済調査マニュアル(案)」及び「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル(案)」の改定に伴う便益算定方法の見直しによる効果の増加															
1.62																
3. コスト縮減などの取組	取組の項目	取組内容												縮減額(百万円)		
	資源循環の促進	すき取り土を法覆工に有効利用することによるコスト縮減												3		
V 評価																
1. 必要性	● 本事業は、上富良野町の人家及び耕作地等の土砂災害を防止するためのもの。 ● 今後の出水により下流域への土砂や流木流出が懸念されるなど、土砂災害が発生する危険性が高い。 ● 事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。															
	a	a: 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b: 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c: 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。														
2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題															
	● 砂防堰堤において法覆工にすき取り土を用いることで在来種による緑化を促し自然環境に配慮している。															
	(2) 事業推進に対する地域の動向・意向															
● 上富良野町から事業の早期完成に向けて毎年度要望が出されている。																
(3) その他の課題																
● 事業に影響を及ぼすような課題は特になし。																
3. 事業達成の見込み	事業計画に影響を与える状況変化や事業進捗に影響を与える重大な懸案事項もないことから、事業目的の達成が見込まれる。															
	a	a: 現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b: 課題はあるものの達成は可能である。 c: 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。														
4. 対処方針	事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和10年度(2028年度)の完成を目指し、事業継続する。															
	a	a: 継続 b: 終了 c: 休止 d: 中止														
事業期間変更の有無		有		事業内容変更の有無		無		総事業費変更の有無		有						

**VI 備考**

1. 評価履歴	【評価結果】 事前評価 : 該当なし 再評価 : 該当なし
	【特記事項】
2. その他の取組事項	

**補足資料**

**VII 事業計画変更** (単位：百万円)

事業経過							経 過 年 数	事業費			
	再評価	事業採択	着手	評価年度	変更年度	完了予定		総事業費 (a)	当該年度事業費	累計事業費 (b)	進捗率 (b)/(a)
事前評価 又は当初		H30 (2018)	H32 (2020)			H38 (2026)	5	980			
変更①	1回目			R5 (2023)	R5 (2023)	R10 (2028)		1,600	120	607	38%
変更②											
変更③											
変更④											
変更⑤											
変更⑥											
変更⑦											
変更⑧											
変更⑨											
変更⑩											

変更理由・内容	<p>変更①：総事業費及び事業期間の変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビリカ富良野川における地質調査の結果、地盤地盤支持力不足により拡幅および増工を行い施工規模を拡大したことによる増額及び事業期間の延伸</li> <li>・柳の沢川における地形調査の結果、堰堤の施工規模を拡大したことによる増額</li> <li>・物件の隣接地で測量箇所や作工物調査を追加したことによる増額 (4)パイプラインの補償が必要となったことによる増額</li> <li>・貴重種が確認されたことにより移植・追跡調査を行ったことによる増額</li> <li>・資材・労務単価の上昇</li> <li>・残事業の施工期間を精査したことによる事業期間の延伸</li> </ul>
---------	---

# ピリカ富良野川 火山砂防事業(社会資本整備総合交付金)



凡 例	
	流 域 界
	計 画 基 準 点
	溪 流
	計 画 砂 防 施 設
	既 設 護 岸 工
	計 画 渓 流 保 全 工
	保 安 林

**事業の目的**

- 土砂災害から地域住民の生命、財産などを守るため、砂防設備の整備を行う。
- H28年の集中豪雨により下流域へ大量の土砂流出・洪水氾濫が発生し、大きな被害が生じた。現在、流域内には治山施設と護岸工が設置されているが、その効果量は小さく、今後の降雨により更なる土砂流出が懸念される。
- 渓流保全工や砂防堰堤工の整備を行い、人家や公共施設などを土砂災害から守ることを目的とする。

**事業概要**

ピリカ富良野川火山砂防事業は、土砂災害から人家や避難所などを守るため、砂防設備（砂防堰堤工、渓流保全工）の整備を行うものである。

